

池川茶業組合

～お茶とスイーツの共働！～



全員集合



城を基調としたカフェ外観 桜と桃の花に囲まれて

経緯

- 農家の高齢化や後継者不足により、地域の茶園の荒廃が進むとともに、ペットボトル茶の登場により荒茶の価格が低下し、農家の収入が下落。
- 労働力の有効活用、効率化、品質向上を図るため8工場を1工場へ統合し、池川茶業組合を設立。

取組内容

- 30代の担い手为中心となり工場運営や茶畑管理の中心的な役割を引き受け、地域の茶園維持に努める。
- 荒茶から仕上茶に重点を移し、仕上茶の販路拡大のため、毎週末に高知市内の量販店店頭で試飲即売を実施。
- お茶を活かしたスイーツを開発し、販売拠点となるカフェを開店。

活動の効果

- 荒茶の市場出荷から高品質な仕上茶の小売販売に重心を移したことで、収入が確保された。
- カフェには大型バスで団体も訪れ、年間2万人が訪れる観光名所となり、地域の活性化と雇用の創出につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

日本茶インストラクター協会主催の日本茶AWARD2018においてファインプロダクト賞を受賞した「霧の極」をはじめ、高品質のお茶販売を拡大することで生産に必要な地域の茶畑を維持し、先人から受け継いだ茶園の風景が次世代に継承されるよう努力を続けていきます。